テ新シイ時代ニ擂ガツタモノデアラウ。

· Oいぶきぜりノ所屬二就テ (北川政夫)

いぶきぜりハ日本ノ中部以北ノ高山=生ズルせり科ノー草デアル。 本種へ Maxim>wcz 氏ニョリ Carum holor etalum Maximowcz ト命名セラレタガ Carum 屬トハ異リ花柱盤=瘤状突起ガ見ラレ、夢片ハ極メテ朗原デ互=接シ合ヒ、葉ハ單羽状複葉デハナク明ラカニ三出羽状複葉ヲ呈シ下部羽片ハ明原ナ小葉柄ヲ有スル。 正= Tilingia 属ノ性質=吻合スルモノデアルカラ兹=新タナ組合セラ行フ。Tilingia ajanensis Regel しらねにんじん等=習性が相似テキル。

Tilingia holopetala (MAXIMOWICZ) KITAGAWA comb. nov.

Carum holopetalum Maximowicz in Bull. Acad. Imp. Sci. St. -Pétersb. 31: p. 48 (1886): in Mél. Biol. 12: p. 46 (1886); Yabe in Journ. Coil. Sci. Imp. Univ. Tokyo 16 Art. 4, p. 42, f. 20 (1902).

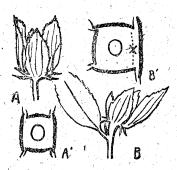
Nom. Jap. Ibuki-zeri いぶきぜり.

Area Geogr. Japonia bor.

〇しろやまぶきノ藁片一葉ガ藁二彦行スル顯著ナル例 (前川文夫)

しろやまぶき Rhodoty pos scandens (Thunb.) Makino ノ花部ハばら科トシテハ珍ラシイ4 製性デアルカラ募片モ亦4片ヨリ成り、緑色葉質デ稍平行セル葉脈ヲ除ケバ、

尋常葉ト近イモノヲ感ズル。基期ノ兩側ニハ針形ニ尖ツタ軟質綠色ノ小片が開出シテ居ルガ,通常コレヲ小夢片 Calyculus ト呼ンデ居ル。シカシナガラコレハ夢片トハ別ノ輪上=排列スルモノデハナク夢片ニ附隨スルモノデ,尋常葉ノ基脚ニ存スル托葉トソノ形態極メテ類似シ,正ニ托葉ト解スベキモノデアル。Zuccarini ハ既ニコノ事ヲ知ツテ居テ托葉ガ合シテ I 個ノ苞ヲナストシテ居ルガ,事實兩者ガ相接シテ突出スル事ハヨクアルガ分レテ居ル方ガ多イ。夢片ハ外輪 2 個が大キクテ最終ノ尋常葉ト交互シ内輪 2 個が新ナイ事ハ圖 A 及 A ニ示スガ如クデアル。然ルニ中ニハ B 及ビ B ノ 標ニ外翻上 3輪ョリ成り第 1輪ハ最大 1 個,第 2輪ハ中大 2 個,第 3輪バ小 1 個 プモノガアツタ。コ



しろやまぶきノ

A 正常ノ募片 A/ 同上ノ排 列ヲ示シ各募片ノ兩緣ノ突出 部ハ托葉ヲ意味スル

B 異常ノ夢片ガ 尋常葉ト關聯。 、アルヲ示ス

B' 同上ノ導片ノ排列, ×ハ缺 如ノ意。

レハヨク見ルトBノ左側ニ尋常葉的ノ形態ノモノガ1個ダケ孤立シテ居テ,第1輪ノ1個ノ大夢片ハ實ハコレニ對王スルノガズレテ夢片様ヲ呈シタモノデアリ,從ツテ第3輪ハソノ對應スベキ上夢片ヲ第1輪ノ夢片ノ存在ト4個ナル限定數ノ為ニ消失シテシマツ